

## 基本方針5 子どもたちの健やかな体をはぐくみます

## 【基本的方向】

- ① PDCA サイクルに基づく学校における体育活動の活性化や、地域・家庭におけるスポーツ活動に親しむ機会の充実により、児童・生徒の運動習慣をはぐくみます。
- ② 学校における食に関する指導や学校保健活動等を充実するとともに、地域や家庭と連携して子どもの生活習慣の定着を通じた健康づくりをすすめます。

## 【主な取組み】

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
①	体力づくりに関するPDCAサイクルの確立 （学校における体育活動の活性化＜参考資料 P202＞）	市町村教育委員会に対し、体力づくり推進計画のひな形及び記入例を示すなど、各学校における推進計画の作成を支援した。
	体力づくりに向けた取組みへの支援 （スポーツ指導・体力向上支援推進事業（子ども元気アッププロジェクト事業）＜参考資料 P203＞）	体力づくりに向けた重点課題を定め、それに沿った種目の実施を奨励し、その成果を発表するため、「なわとび」「ドッジボール」「長距離走」によるスポーツ大会を開催した。
	運動部活動の活性化 （社会人等活用推進事業＜参考資料 P204＞）	部活動の活性化を図るため、優れた技能や専門的知識を有する社会人を、外部指導者として府立高校へ派遣した。
	運動習慣の確立支援（ツール開発） （楽しく体を動かすことができる運動ツールの開発 ＜参考資料 P204＞）	運動する機会の少ない子どもや、運動が苦手な子どもが楽しく体を動かすことができる運動ツールを作成した。
②	中学校給食の導入促進と栄養教諭を中核とした「食に関する指導」の充実 （中学校給食導入促進事業＜参考資料 P205＞） （学校教育活動全体を通じた食に関する指導の充実 ＜参考資料 P205＞）	中学校給食導入実施計画書に基づいた整備が行われるように、市町村に対し支援を行った。 また、市町村教育委員会へ働きかけ、小・中学校における食に関する指導体制の整備を図った。
	学校における保健活動の充実 健康づくりに関する保護者への啓発 （学校保健・食育推進事業（学校保健課題解決事業） ＜参考資料 P206＞）	大阪府における児童生徒の学校保健上の課題を解決するため、学校三師（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）及び地域医療関係者と連携した研修会を実施するとともに、保護者も対象とした薬物乱用防止教育シンポジウムを開催した。
	子どもたちの生活リズムの確立に向けた取組みの推進 （3つの朝運動＜参考資料 P206＞）	子どもたちの生活リズムの確立に向け、各校の取組みについて状況調査を実施し、特色ある取組みについて、府教育委員会ホームページで紹介した。

【指標の点検結果】 ※全国学力・学習状況調査に係る指標については、当該年度の状況が次年度の結果に反映されるため、「計画策定時の現状値」及び「実績値」には次年度の結果を記載

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H26年度実績値	点検結果	
○指標 37 体育授業以外で継続的に 体力向上の取組みを行う 小学校の割合	100%をめざす	68.3%	79.5% [H25年度実績 75.8%]	○	平成26年度実績は、計画策定時の 実績を11.2ポイント上回った。
○指標 38 体力テストの5段階総合 評価で下位ランク(D・E)の 児童の割合	男女とも25%をめざす	小5男子 32.1% 女子 33.3%	小5男子 33.1% 女子 29.7%  (H25年度実績 小5男子 30.8% 女子 33.0%)	△	平成26年度実績は、男子について は、計画策定時の実績を1.0ポイ ント増加したが、女子については 3.6ポイント改善した。
○指標 39 保護者を委員とした学校保 健委員会の設置率 (政令市除く)	100%をめざす	公立小学校 43.1% 公立中学校 34.5% 公立高校 70.4%	公立小学校 51.7% 公立中学校 46.0% 公立高校 82.9%  (H25年度実績 公立小学校 50.6% 公立中学校 41.2% 公立高校 79.7%)	△	平成26年度実績は、いずれも計画 策定時の実績を上回った。
○指標 40 「食に関する指導」の推進 体制を整備した小・中学校の 割合	100%をめざす	79.5%	92.5% [H25年度実績 86.8%]	○	平成26年度実績は、計画策定時の 実績を13ポイント上回った。
○指標 41 「毎日朝食をとる」児童・生 徒の割合	全国水準をめざす	小6 85.0%(全国:88.7%) 中3 78.8%(全国:84.3%)	小6 83.4%(全国:87.6%) 中3 79.3%(全国:83.8%)	△	計画策定時に比べ、全国平均との 差が中3では縮小したが、小6で は拡大した。
○指標 42 公立中学校における学校給 食の実施率 (政令市含む)	全国平均を上回る	40.1% (全国:83.2%) (H23.10.1現在)	66.2% (全国:86.0%) (H25.5.1現在)  (H25年度実績 54.7% (全国:83.8% (H24.5.1現在))	○	平成26年度実績は、計画策定時の 実績を26.1ポイント上回った。

## 【自己評価】

- ① PDCA サイクルに基づく学校における体育活動の活性化や、地域・家庭におけるスポーツ活動に親しむ機会の充実により、児童・生徒の運動習慣をはぐくみます。
- ・各市町村に対して、小・中学校での「体力づくり推進計画」の策定を促した結果、体育の授業以外で継続的に体力向上の取り組みを行う小学校の割合が引き続き上昇したが、目標とする100%（平成29年度）に向けて、働きかけを一層強める。体力テストの総合評価下位ランクの児童の割合については、女子の割合は改善されたものの、男子は前年度より増加した。市町村教育委員会へのヒアリング結果から、同調査結果の分析に基づいた取り組みや持っている力を100%発揮できるような雰囲気づくりの工夫が必要である。今後、学校あるいは地域や家庭において、友達と楽しく体を動かすことができる運動ツール、「めっちゃスマイル体操」「めっちゃWAKUWAKUダンス」の活用促進など、より一層の取り組みを図る。
- ② 学校における食に関する指導や学校保健活動等を充実するとともに、地域や家庭と連携して子どもの生活習慣の定着を通じた健康づくりをすすめます。
- ・学校における保健活動の充実については、市町村教育委員会、学校、保護者に働きかけた結果、保護者を委員とする学校保健委員会の設置割合が上昇したが、100%をめざすという目標に対し、公立高校は8割を超えている一方、公立小学校・中学校は5割前後にとどまり、学校保健委員会の設置が遅れている。設置率の低い市町村教育委員会に対しては、学校保健担当者会議等において設置を促すなど、目標とする全校での設置に向け、より一層の働きかけが必要である。
  - ・食に関する指導の推進体制の整備については、市町村教育委員会に働きかけた結果、推進体制を整備した小・中学校の割合は増加したことにより、食の指導体制が充実した。「毎日朝食をとる」児童・生徒の割合については、計画策定時に比べ、中学校3年生においては全国平均との差が縮小したものの、小学校6年生では全国平均との差は拡大した。
  - ・中学校給食については、中学校給食導入実施計画書に基づいた整備が進んだ結果、給食実施率が上がった。

【評価審議会における審議結果】

○府の点検及び評価結果は、概ね妥当である。

【基本的方向①について】

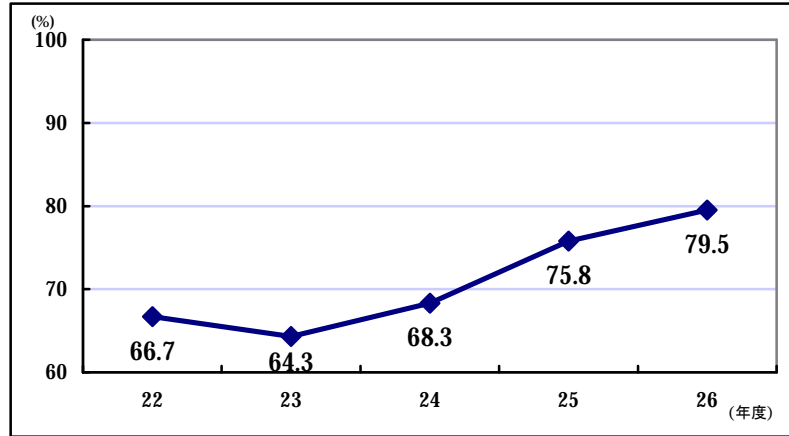
- ・「体育授業以外で継続的に体力向上の取組みを行う小学校の割合（指標37）」が年々上昇している点は評価できるが、それにも関わらず、「体力テストの5段階総合評価で下位ランク（D・E）の児童の割合（指標38）」が改善しない理由について、その原因を分析すべきである。
- ・地域・家庭におけるスポーツ活動に親しむ機会の充実に向け、「運動習慣の確立支援（ツール開発）（具体的取組98）」では「めっちゃスマイル体操」「めっちゃWAKUWAKUダンス」を独自に開発したことは大変有効な施策であるが、今後は、それらを小・中学校における授業や運動会に組み入れるなど、継続的かつ長期にわたって普及させ、根付かせる取組みが必要である。

【基本的方向②について】

- ・「公立中学校における学校給食の実施率（指標42）」については、府教育委員会がリーダーシップを発揮して取り組んだことで中学校給食の実施率が伸びていることは評価できる。今後は、各市町村教育委員会がそれぞれの判断でより積極的に取り組んでいくことができるよう、中学校給食導入による成果を分析し、それを市町村教育委員会に情報発信していくべきである。

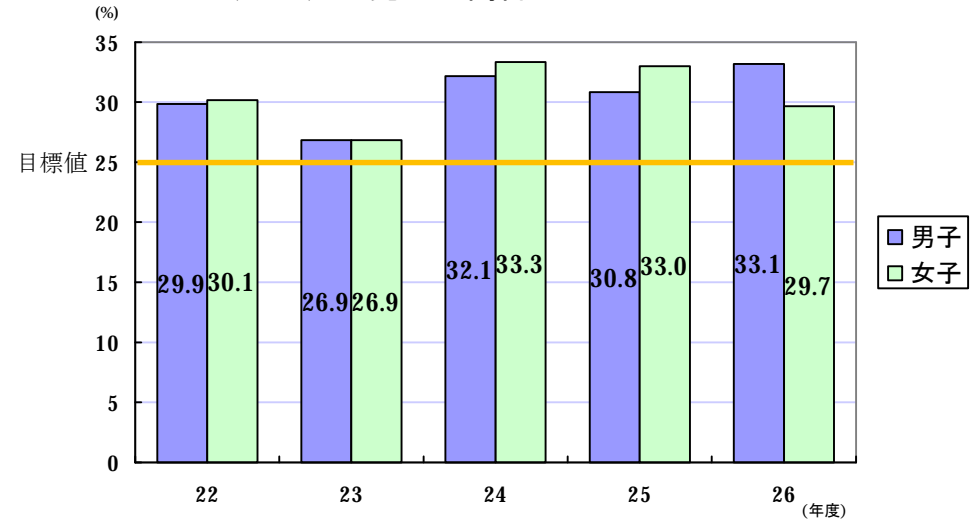
(参考)

◆指標 37 体育授業以外で継続的に体力向上の取組みを行う小学校の割合



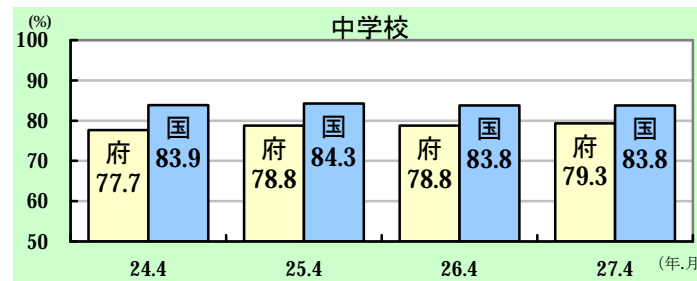
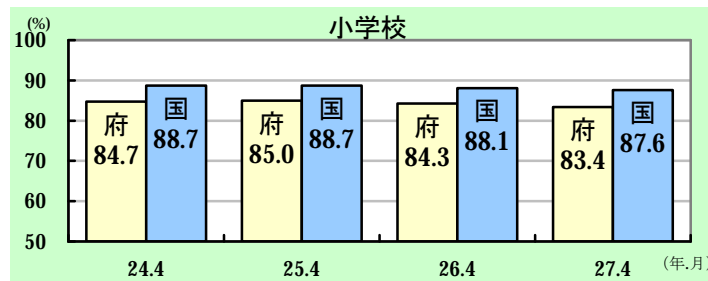
※府教育委員会調べ  
※調査は H22 年から実施

◆指標 38 体力テストの5段階総合評価で下位ランク(D・E)の児童の割合



※府教育委員会調べ

◆指標 41 「毎日朝食をとる」児童・生徒の割合



H24 年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む抽出調査)  
H25～27 年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む悉皆調査)